

先駆者に学び

未来を築く



▲(左より)森下・竹田・谷口・木下・小嶋・岡田千賀子議長(播磨町議会)・
井手元・中原・白銀・仲島・早麻

県外視察研修(兵庫県)

令和7年10月29日 兵庫県太子町

令和7年10月30日 兵庫県播磨町

- p 2 令和6年度決算
- p 6 一般質問(町政を問う)
- p14 委員会審査
- p20 県外視察研修報告(兵庫県)

写真は兵庫県
播磨町の議場だよ



視察研修の詳細は
裏表紙へ!



令和6年度 決算

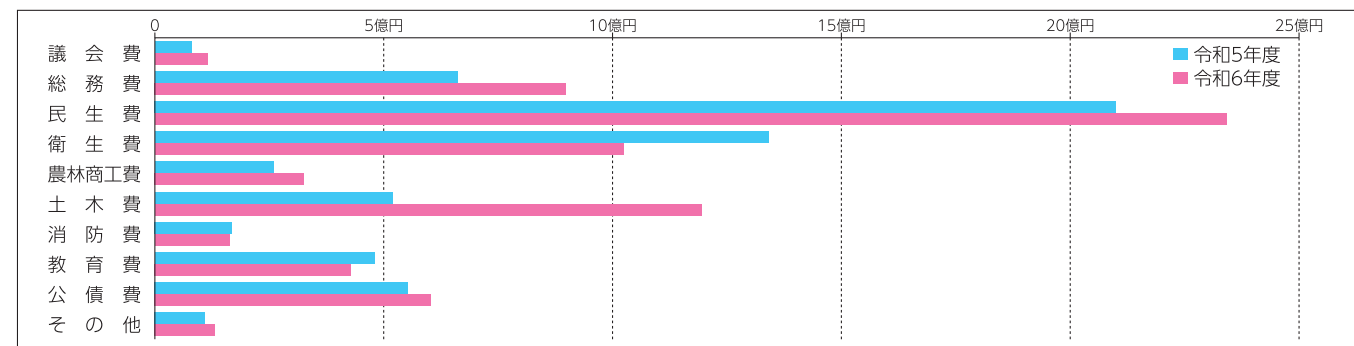
どう使われたか

支出の前年度比をチェック

令和5年度と令和6年度の支出を費用別に比較。

※グラフや表は、四捨五入により総額が一致しないことがある。

	令和5年度	令和6年度	前年度との比較
議会費	7,922万円	1億1,503万円	3,581万円 増 (45.2%)
総務費	6億6,104万円	8億9,850万円	2億3,746万円 増 (35.9%)
民生費	20億9,991万円	23億4,207万円	2億4,216万円 増 (11.5%)
衛生費	13億4,083万円	10億2,374万円	-3億1,709万円 減 (△23.6%)
農林商工費	2億5,994万円	3億2,595万円	6,601万円 増 (25.4%)
土木費	5億1,844万円	11億9,515万円	6億7,671万円 増 (130.5%)
消防費	1億6,878万円	1億6,350万円	-528万円 減 (△3.1%)
教育費	4億7,925万円	4億2,829万円	-5,096万円 減 (△10.6%)
公債費	5億5,331万円	6億351万円	5,020万円 増 (9.1%)
その他	1億979万円	1億3,119万円	2,140万円 増 (19.5%)

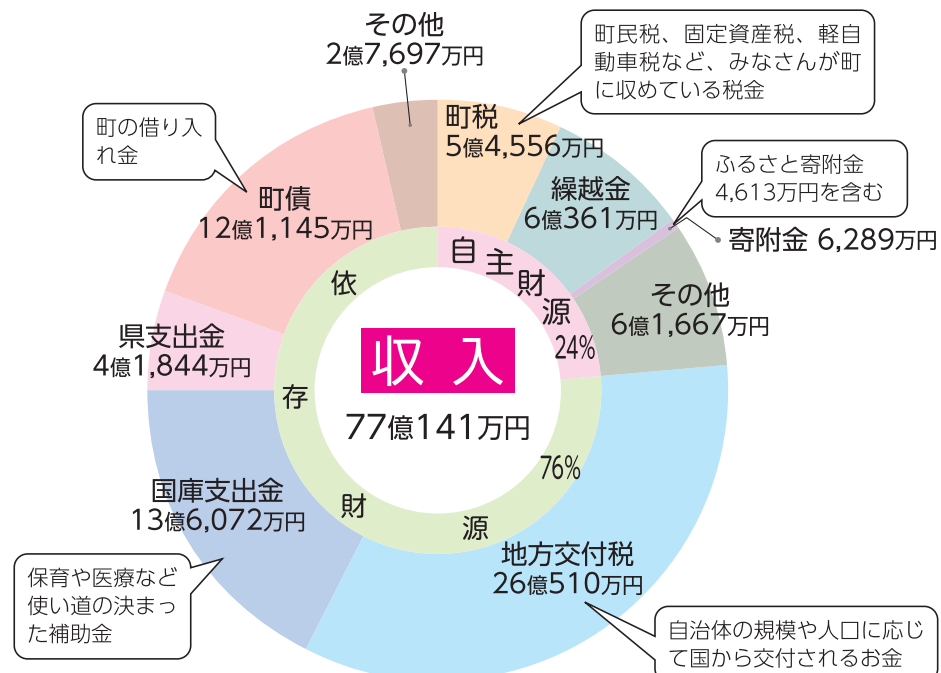
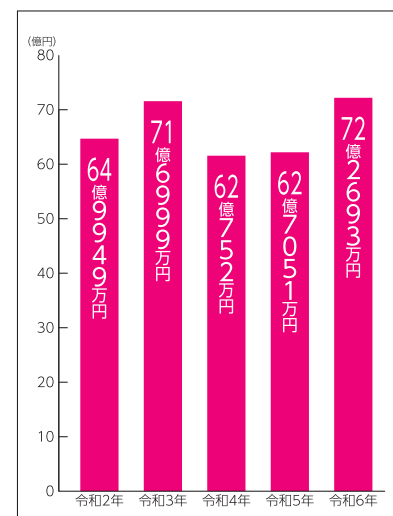


全体的に増えているね

土木費は宮床団地の建て替えが影響しているよ



一般会計の規模は 令和5年度 より増加



一般会計

いっとこカーの本格
運行が始まったね

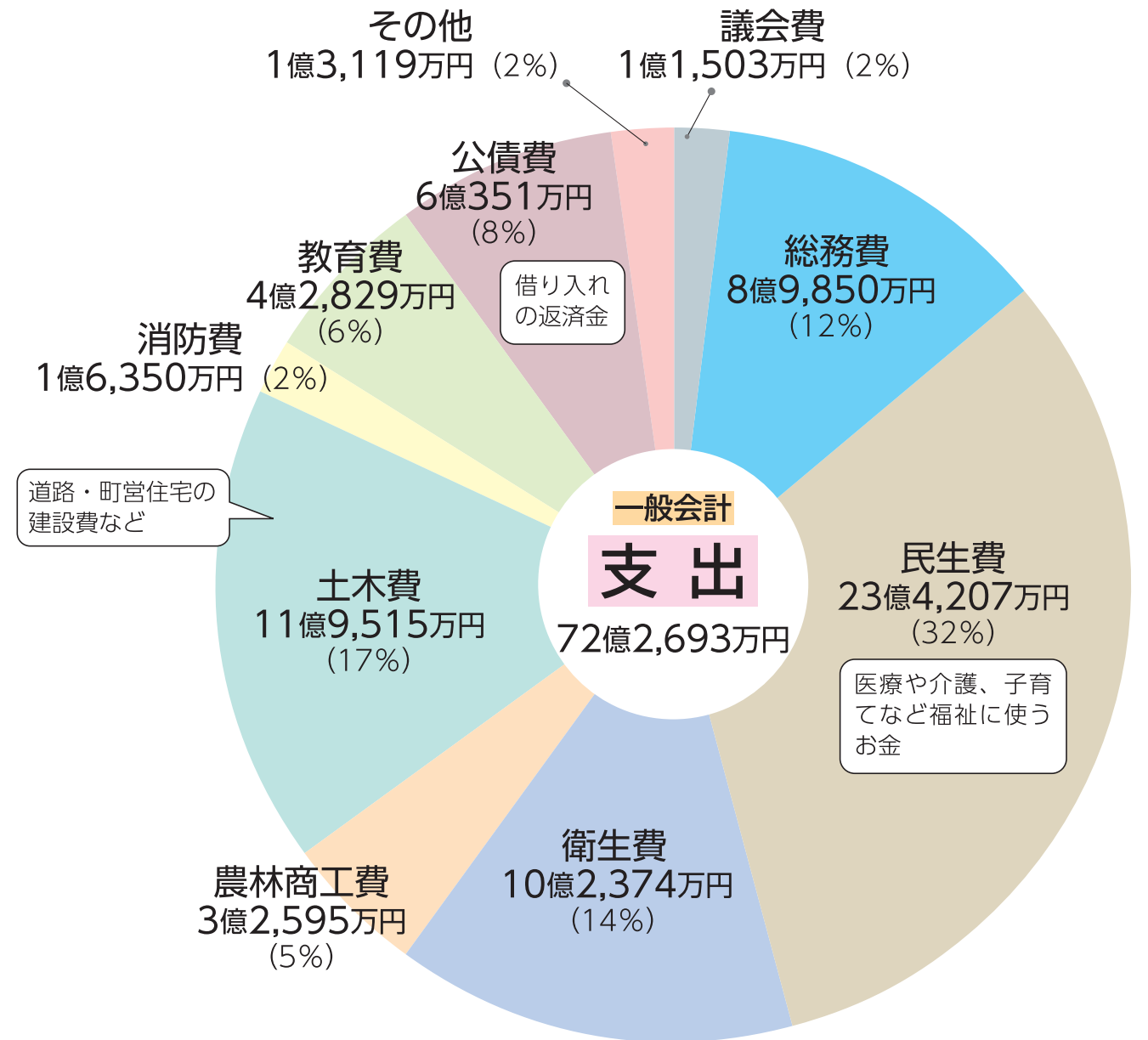


議会のインターネット
配信も始まったよ



令和7年10月14日～15日の2日間で決算特別委員会を開催し、令和6年度の決算を審査。

また、令和7年12月定例会において、一般会計他5つの特別会計の決算議案を認定。



会計別の決算状況は

※グラフや表は、四捨五入により総額が一致しないことがある。

	収入	支出	差し引き残	支出の前年度との比較
一般会計	77億141万円	72億2,693万円	4億7,449万円	9億5,642万円 増 (15.3%)
国民健康保険	9億9,877万円	9億3,534万円	6,343万円	1,434万円 減 (△1.5%)
住宅新築資金等貸付事業	1億743万円	729万円	1億14万円	30万円 増 (4.2%)
学校給食センター事業	8,133万円	8,121万円	12万円	202万円 増 (2.6%)
後期高齢者医療保険	3億3,475万円	3億1,335万円	2,140万円	2,033万円 増 (6.9%)
町立緑ヶ丘病院事業	5億6,324万円	7億8,098万円	-2億1,774万円	7,702万円 増 (10.9%)
合計	97億8,693万円	93億4,509万円	4億4,184万円	

糸田アリーナの備品管理の徹底を

教務課

要望 糸田アリーナの机が破損しているのが見受けられる。管理会社には管理を徹底してもらいたい。



歴史資料館の臭いの改善を

教務課

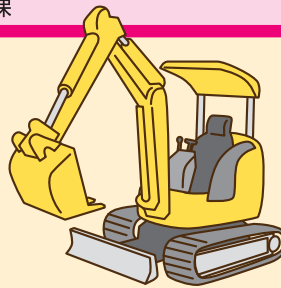
要望 町民会館にある歴史資料館の防虫剤の臭いが強すぎて見学がままならない。他の歴史資料館等では臭いの印象がなかったので、研究をしてもらいたい。



最低制限価格公表の影響は

土木課

Q 入札を実施した工事で、最低制限価格を公表してしばらく時間が経過したが、影響はあったか。
A 現在、特に大きな影響は見受けられない。



現場で働く方の熱中症対策

土木課

Q 夏場に現場で働く方々の熱中症対策はいかがか。
A 国では熱中症手当や夏季休業、夜間工事等に対応している。国の動向を見ながら町としての対応を考えていきたい。



小・中学校体育館の猛暑対策

教務課

要望 夏は猛暑が続き、小・中学校の体育館で授業ができる状況ではない。町内の建替事業で優先順位があるのは理解できるが、補助金なりを活用してクーラーの設置を要望したい。



給食費無償化の地域格差をなくしてもらいたい

教務課

意見 財政に余裕のある自治体は小・中学校の給食費の無償化が実施されているが、小さい自治体では未だに無償化が進んでいない。地域の格差が目立つので、国には地域の平等化を含めて政策に取り組んでももらいたい。



工事で刈った草の放置問題

土木課

Q 昨年の決算特別委員会内で、草刈工事で草を刈りっぱなしにして、回収まで放置するところがあることを指摘した。その後、改善はあったか。
A 配慮はしてもらっていると思うが、すべてを把握できていない。今後も周辺に配慮するよう施工業者にはお願いしていきたい。



グレーゾーンをなくした経営を

町立病院

意見 町立病院の交際費について、明確な形が残ればよかったのではないかと感じる。研究費といった名目であれば理由は立つと思うし、議会への説明ができたのではないか。



令和6年度事業内容をチェック

水道管のチェックを

総務課

要望 水道管の破裂で道路が陥没する案件が全国で発生している。未然に防ぐためにも、整理をお願いしたい。また、安全のためにもアスベスト管の取替えを進めてもらいたい。



配慮あるハザードマップの作成

防災管財課

要望 配布されたハザードマップに福祉避難所の表記がなく、障がい者に対して配慮が足りないと感じる。福祉避難所を利用できる方が一目で分かるように工夫してもらいたい。



予防接種健康被害救済制度の周知を

健康福祉課

要望 新型コロナウイルスワクチン接種を含めた予防接種で健康被害にあわれた方の中には、救済制度について知らない人が多い。手続き方法も含めて広く周知をしてもらいたい。



決算特別委員会が内容を検証

※決算特別委員会

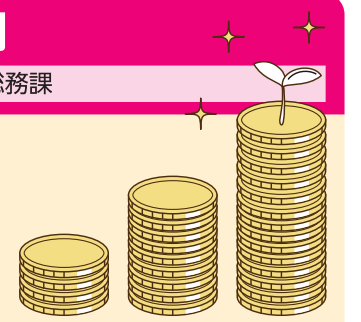
委員長：仲島 副委員長：早麻

委員：谷口、白銀、松瀬、竹田、山田、小嶋、木下、中原

基金の有効活用

総務課

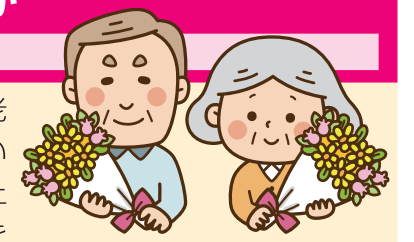
要望 目的に応じて積み立てていることは理解できるが、中には貯まる一方で活用できていない基金もある。町のためにいい知恵を出して有効活用してもらいたい。



敬老会の対象を75歳以上にしてみようか

健康福祉課

要望 現在、敬老会のお祝い品として70歳以上の町民にごみ袋等を配っているが、対象を75歳以上の方に引き上げて5,000円をお渡しするようにすれば、費用も変わらないのではないか。また、『高齢者』を『輝齢者』と表現をしている自治体もあるので、ぜひ検討してもらいたい。

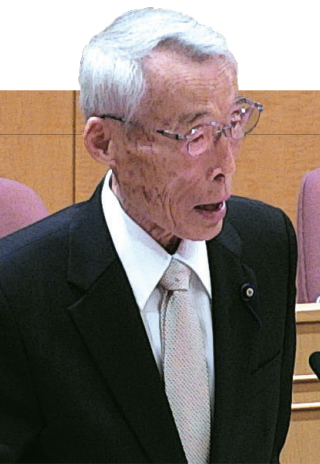


徹底した徴収対策

健康福祉課・人権推進課

要望 滞納を増やさない努力をしてもらいたい。生活状況も考慮した上できめ細かく、そして厳しく徴収に臨むこと。





まつ せ 松瀬
まさゆき 征行



動画はこちらから

町政を問う

これも質問

問 県大の学生や地域おこし協力隊、婦人等を交えたふるさと納税返礼品の「開発プロジェクトチーム」でアイデア作戦を進めては？

答 町長 製造業との連携、かんきつ類を使った事業の開発に取り組んで行く。

問 自主財源の一つでもある「ふるさと納税」令和6年度の田川市町村の実績順位を問う。

答 地域振興課長 寄附額の多い順に、福智町約41

問 現在の返礼品の概況等を問う。

答 地域振興課長 返礼品は事業者と提携し、約2千4百種類ある。



▶ 返礼品のいちい

問 「ふるさと納税」増収のヒット返礼品の取り組み

答 何ができるかを模索しながら検討する

問 令和7年度の現在の実績状況を問う。

答 地域振興課長 今年度の直近の10月末現在のふるさと納税の実績は、件数が611件、寄附額が約2千4百万円で寄附額は例年並みの推移だ。

億7千万円、赤村約24億3千万円、川崎町約7億7千万円、田川市約7億3千万円、添田町約1億3千万円、香春町約9千6百万円、糸田町約4千3百万円となる。

本町の返礼品の中でも特に人気の高い物は「冷凍あまおう」「博多和牛3種類」「冷凍すっぱん」となっている。

問 来年度増収に向け魅力あるヒット返礼品の改革、アイデア、PR等の取り組みを問う。

答 町長 次年度以降の取り組みは、町内の業者がジェラートの開発をおこなう。また体験型返礼品が好評なので、陶芸や食器の絵付け体験等取り組む。

問 令和7年8月に平成筑豊鉄道の利用状況を沿線の県立中学、高校を対象としたアンケートの結果を法定協議会に報告された。アンケートは15校の学生7千279人を対象に実施し、約83%、6千10人から回答を得た。結果は、通学利用は89.6人約15%、鉄道以外に通学手段がない生徒は621人約7割と回答した。この様に沿線の多くの高校生にとっての平成筑豊鉄道は、通学に

問 令和7年8月に平成筑豊鉄道の利用状況を沿線の県立中学、高校を対象としたアンケートの結果を法定協議会に報告された。アンケートは15校の学生7千279人を対象に実施し、約83%、6千10人から回答を得た。結果は、通学利用は89.6人約15%、鉄道以外に通学手段がない生徒は621人約7割と回答した。この様に沿線の多くの高校生にとっての平成筑豊鉄道は、通学に

答 町長 アンケートで高学年の足の確保は非常に大きな課題だ。確かに鉄道のメリットは大量輸送、定時性、乗車時間の活用等メリットがたくさんある。

沿線市町村と県の法定協議で今年度末結論を出す予定なので、個人的な意見は差し控える。

答 法定協議会の決定に順守する義務がある

問 平成筑豊鉄道は鉄道存続で運営すべきだ

町政を問う!!



令和7年12月定例会では、7人の議員が※一般質問をおこない、活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は7ページから13ページです。

山田 陽一 (10ページ)

- 重度心身障害者見舞金事業について
- 町立病院長交際費の支出について

森下 喬廣 (11ページ)

- 病院建設候補地について住民感情への配慮は
- 財政健全化計画の策定に係る進捗状況
- 重点支援地方交付金の活用方針について。

小嶋 康子 (12ページ)

- 物価高騰対応の重点支援地方交付金活用
- 役場内のトイレ環境
- 通学路スクールゾーンにイラストを入れて、カラフルな路面標示にできないか。

白銀 秀樹 (13ページ)

- 防犯カメラの設置を含む安全対策について
- いじめ・虐待・不審者等の対応について
- 町内における防犯カメラの総数と、公共施設への設置状況について問う。
- 防犯カメラの過疎債を使つての取り組みは。
- 庁舎前、県道の信号機設置について。

松瀬 征行 (7ページ)

- 「ふるさと納税」増収のヒット返礼品の取り組み
- 平成筑豊鉄道は鉄道存続で運営すべきだ
- 県大の学生や地域おこし協力隊、婦人等を交えたふるさと納税返礼品の「開発プロジェクトチーム」でアイデア作戦を進めては？

木下 智康 (8ページ)

- 交通安全週間以外の見守りをおこなえないのか
- 町立病院水上市院長の退職理由はなにか？
- 田川市内の保育施設で起きた事件を踏まえておこなった町の対応は？
- 財政が豊かになり、末永くいい町になるよう。

早麻 雄三 (9ページ)

- 小学校で給食費無償化の場合中学校は？
- 公共施設等管理総合計画の進捗状況
- 地域課題の共有を含む各課題の検討状況。

※一般質問／

議員が町の行政全般について、質問、政策提言をおこないます。糸田町議会は、一人50分以内でおこない、議会だよりには、各議員が要約したものを掲載しています。

執行部

総務課 防災管財課 税務町民課 地域振興課 人権推進課 教務課 健康福祉課
子育て支援課 建築課 土木課 町立緑ヶ丘病院

一般質問

全文が知りたい人は、議事録を閲覧できるよ!





はやま 早麻 ゆうぞう 雄三



動画はこちらから

町政を問う



これも 質問

問 地域課題の共有を含む各課題の検討状況。
答 十分な協議が進んでいないことは事実。

問 小学校の給食費無償化を実施した場合、中学校はどのように扱われるのか。

答 町長 基準額を上回る場合も、財政の硬直化を防ぎつつ、国の制度設計を見ながら判断していきたい。

問 小学校で給食費無償化の場合中学校は？

答 国の制度設計を見極め判断する

問 基準超過分については、どのような考えか。

答 町長 本町は経常収支費率も高く財政硬直化している中、無償化の時期が1年なら同時実施も考えられるが3年4年先なら問題もあり、国の制度設計を見極め判断したい。



▶ 給食の風景

問 給食を利用してない児童生徒への対応はどのような考えか。
答 町長 前向きに検討していかなければいけないと考えている。

問 町立病院水上院長の退職理由はなにか？

答 院長になられる前から退職の意向がずっとあった



▲ イメージ写真

答 町長 選挙区から有力と、町にとって非常に有意義なことがたくさんある。どうしても彼の力を借りたい!!それぞれの立場と役目がある!!

問 町立病院の建て替えなどで、町との意見の食い違いや院長の出した案をまったく聞いられず、ないがしろにされているなど聞いた。
答 町長 院長は患者に寄り添い人気もあり、辞められたら来院される方が減るのではないかと。さらにコロナ禍では、コロナワクチンの危険性を町民に伝えていた方だ。地域に密着した町立病院を造ると町長は言われているが、逆に院長と対立してどうするのか。

答 町長 私は決して対立したつもりはない

いが、ただ2点ある。公務員として国が決めたコロナ接種は粛々と進めなといけない。患者がワクチンを打ちに来た時に「打たない」と帰した。「それは公務員として水上院長おかしいじゃないか」と指摘した。
新病院建設については、院長は今の病院を修繕をという思い。新病院建設に走ることに院長は快く思っていないのかもしれない。私が寄り添ってないということはある。院長を邪険にする行為も取っていない。

問 公共施設等管理総合計画の進捗状況

答 現段階では3.3%の縮減を達成

問 計画に掲げた方針と数値目標に対して現在の段階にあり、どの程度具体的な取り組みが進んでいるのか。

答 町長 具体的な数値目標は35%と示している。現段階では、平成28年度から令和4年度の見直しまでに3.3%の縮減を達成している。

問 どのように中途での検証を位置づけ、今後どの方法、頻度で実施する考えか。

答 町長 国の通知に基づき、令和4年度に改定をおこなったところであり、今後も社会情勢や財政状況、施設利用の変化に応じて適宜見直しをおこなう位置づけとしている。現行計画に定期的な見直し時期は5年ごととあるが、必要に応じて柔軟に対応したい。



きのした ともやす 木下 智康



動画はこちらから

町政を問う



これも 質問

問 田川市内の保育施設で起きた事件を踏まえおこなった町の対応は？
答 町長 職員ミーティングをおこない、情報共有するとともに保育に対する注意喚起をおこなう。
問 木下議員はどういう地域社会を目指しているか？
答 町長 木下議員は財政が豊かになり、末永くいい町になるよう。



もりした たかひろ
森下 喬廣



動画はこちら

町政を問う



質問

問 重点支援地方交付金の活用方針について。
答 町長 配分が決まった段階でいろいろ考えたい。

問 「そもそも公立病院は、経常収支のみは注目して議論するのはいかなるものかという思いをする一人です」

問 病院建設候補地について 住民感情への配慮は

答 配慮はおこなっている

問 新しい院長が着任するということであるが、病院建て替えは町始まって以来の重要事業で、住民に不安が広がっている点について町長の受け止めは。

答 町長 経常収支というのは大変重要な指標だと思っている。公立病院だからこそ担えないといけない。総合的に考える必要がある。公立病院で黒字化というのは難しいが、とにかく、せめて繰出金が少しぐらい、と考えている。

「ご意見は何か。」
「ご意見は何か。」



答 町長 新院長は、熊本で地域医療に熱意を持ち、赤字病院を黒字化した経営手腕と人間的魅力を備え、自治医大出身で副院長経験もあり、糸田町立病院に意気を感じている。不安もあると思うが町民に歓迎される人物と理解している。

問 住民説明会の実施方法について、どう

答 町長 数値羅列に留まらず町全体で実効性ある財政健全化計画を作成したい。国勢調査結果が交付税や過疎法に影響し、財政力指数は県内60団体中57位と低く、老朽施設や一般財源振替事業が多いため、過疎債活用不可時には将来負担増大が懸念され、人口速報値で分析を見直すとしている。

問 計画策定に向けた体制や、作業スケジュールはどのようになっているのか。

答 より実効性、有効性のある計画になるよう進めていく

問 財政健全化計画の策定に係る進捗状況

のような選択肢を比較し、現時点でどの方向性を検討しているのか。

答 町長 計画の目標や対策としてのアクションプランにより実施方法や内容を検討し、財政健全化には一定の削減目標が必要となるため、より丁寧な説明が求められるとしている。

問 町長としてこの半年間の取り組みをどのように現時点で総括されるか。

答 町長 数値の羅列ではない。健全化計画や削減目標を含むアクションプランが必要。全庁的組織での議論と住民説明に向け努力していく。



やま だ よういち
山田 陽一



動画はこちら

町政を問う

問 重度心身障害者 見舞金事業について

答 国の手厚い手だてが必要ではないかと思う

問 令和6年度まで実施していたが廃止が決まり、突然役場から

文書が送られて来たという。例年12月の年末に洗剤セットを送って



▲イメージ写真

答 町長 町ではなく、国の手厚い手だてが必要ではないかと思う。

いたが、令和7年11月4日付で該当する方に廃止の通知が行っている。障がいのある方から物価高の中、生活は厳しさを増すばかりで、仕事をして収入を得ることが出来ない障がい者は、大きな失望を感じていると言った文書を手渡された。
昨年は150名に約67万円が支出されている。廃止の前に一人あたり3千円などの考えはなかったのか。担当課長に聞くと、仮に3月の補正で予算があれば、出来るかもしれないと答弁されている。全額でなく、半額程度でも実施してほしい。

問 町立病院長交際費の支出について

答 渡したと言うしかない

問 経営安定化費で、町長は九大の第三内科、外科に渡したと答弁している。西日本新聞の調査で、九州大学病院は商品券の受領を否定して、寸志は町の文書に記録された一部について受取りを認めたと書いている。町と九大の言うことが違う。九大は否定している。私や木下議員はあくま

でも、糸田町の公費が使われていることに対して、適正に処理されているかを尋ねている。不透明な場合、議員は調査しなければならない。令和7年11月に情報開示請求したら、九大第一外科の所が墨塗りされている。町立病院長に聞くと、数字とかは事務長が決めている、どこに幾らやっているのか、中身に対して一切分からないとの事。町民に説明できるように、隠すのではなく、情報公開してほしい。

答 町立病院事務長 寸志は振込をおこなっているの間違いではない。商品券を相手方がもらっていないと言っているのは、正直分らないところ。我々としては、渡したと言うしかない。



しろがね ひでし
白銀 秀樹



動画はこちら



▲ 横断歩道新設要望箇所(二田水病院前)

問 防犯カメラの設置を含む安全対策について

答 防犯カメラは場所の特性とか十分吟味して設置していく

問 防犯カメラの設置総数が100台と聞いて非常に驚いている。今まで私も含め同僚議員も、防犯カメラの設置を要望してきたのに、なぜ設置が進んでいないのか。

答 町長 防犯カメラの優位性は疑いはないが、プライバシーや情報の流出とかの問題もあり、設置する場所とか検討して、計画の段階で入れていきたいと考えている。

問 今後建て替え計画のある真岡団地や町立病院は、設計の段階より防犯カメラの設置を組み込んでもらえないか。

答 防災管財課長 防犯カメラは、発見に有効だが、町民のプライバシーを侵害するおそれもあり、不正アクセスやハッキングによる映像流出が実際に発生している。安全に運用するためにはセキュリティ対策が不可欠であるなど、総合的に判断する必要がある。段階的に設置を検討していく。

問 二田水病院前とスパー川食前の県道に横断歩道の新設を。通学時間帯には、多い時で600台超の車が往來する道路であり、過去には横断歩道のない所を渡ろうとして、生徒がはねられる人身事故も発生している。幾度となく要望しているが、なぜ実現出来ないのか。

答 防災管財課長 交通安全対策の要望もあり、注意喚起看板や街灯の設置等対応した。横断歩道の新設は、事故が起こった事実と通学路である事を踏まえ引き続き要望していく。



こじま やすこ
小嶋 康子



動画はこちら

問 物価高騰対応の重点支援地方交付金活用

答 本町の实情に即した支援策の検討が必要

問 お米券などは農家が多い糸田町には合わない。農家から購入されている方もいる。家計の負担を軽減する即効性ある支援策を急がなければならぬ。幅広い所得層を対象とした現金給付、水道料金減免、給食費の支援などへの生活支援で、一番即効性があるのは、経費のかからない現金給付である。事業者支援として農家への支援をしてもらいたい。資材や肥料なども値上り大きな負担になっている。



▶ イメージ写真

答 地域振興課長 本町の配分額は示されていないが、今回国の追加額が前回の5月の予備費の追加額を上回るため、前回に

問 役場内のトイレ環境

答 多様なニーズに配慮した改善に努める

答 町長 配分が決まった段階で、速やかに計画できるよう事前に各課長に検討をお願いしている。金銭配布、実現可能かどうかも含めて検討する。

比べ配分額が多くなることとが想定される。議員からの提案も含め、本町の实情に即した支援策の検討が必要である。

問 町民の方から「和式のトイレは深く掘っているので、故障が起きる場合、深いためやりにくい。洋式であれば管が上のほうにあり、修繕などがしやすい」との声があり、和式便器は必要か。洋式でウォシュレット完備はできないか。また、病氣などでパットなどを必要とする方のために男性用トイレにサニタリーボックスを設置できないか。町の公共施設のトイレなどにも設置していただきたい。

答 防災管財課 和式を利用される方もいる。便

座に座ることを好まない方もいる可能性はある。そのため現段階では一律に廃止するのではなく、利用実態を踏まえながら検討を進める。ウォシュレットの導入は衛生面や維持管理費用の課題もあるので、近隣市町村や他自治体の事例を参考にしながら研究・検討を進めていきたい。男性用トイレのサニタリーボックスの設置は、身障者用トイレ、多目的トイレに設置しているが、多様なニーズに配慮した改善に努める。意見を伺うため意見箱を利用してほしい。

問 通学路スクールゾーンにイラストを入れて、カラフルな路面標示にできないか。

答 土木課長 教育委員会から申出があれば、それを基に対応を考えたい。

問 いじめ・虐待・不審者等の対応について

答 教職員による日々の見守りや毎月アンケートを実施している

問 いじめ・虐待・不審者の発生件数とその対応はどのようにしているのか。

答 教務課長 いじめ件数は、令和6年度小学校は71件、中学校5件。令和7年度は10月末時点で、小学校84件、中学校10件で教職員による虐待・体罰等は把握していない。問題が確認された際には迅速に対応をおこない、解決に向けた具体

答 子育て支援課長 保育所・児童館・放課後児童クラブにおけるいじめや虐待の案件は確認されていない。

問 町内における防犯カメラの総数と、公共施設への設置状況について問う。

答 防災管財課長 町内の防犯カメラ設置数は、防犯上の観点から詳細な公表は控えるが、屋内外含めて100台となっている。

問 防犯カメラの過疎債を使つての取り組みは。

答 総務課長 来年度からの新しい過疎計画で考えていく。

問 庁舎前、県道の信号機設置について。

答 防災管財課長 警察庁の設置基準を満たしてなく、設置に至っていない。

総務文教振興常任委員会

審査・調査対象の課：総務課・防災管財課・税務町民課・地域振興課・人権推進課・教務課
委員長：中原 副委員長：早麻
委員：山田・小嶋・木下・井手元

生産調整推進対策費 約150万円 地域振興課

説明 県の米の生産調整に基づき、全水田所有者から拠出金を徴収しているが、減反に協力した所有者への補償金額が拠出金を上回るため、不足分を町が補填するための費用。

要望 減反政策とは関係なく、自由に稲作ができるようにしてもらいたい。



田川市3線沿線地域 交通体系整備事業基金負担金 769万円 地域振興課

説明 資金不足により平成筑豊鉄道の維持が困難なため、不足分の一部を沿線地域自治体が負担するための費用。

今後の平成筑豊鉄道についての説明は19ページを見てね



ネットワーク機器ライセンス 使用料 (糸田小学校) 約15万円 教務課

説明 学習用タブレット端末のネットワークセキュリティのライセンスを更新するための費用。



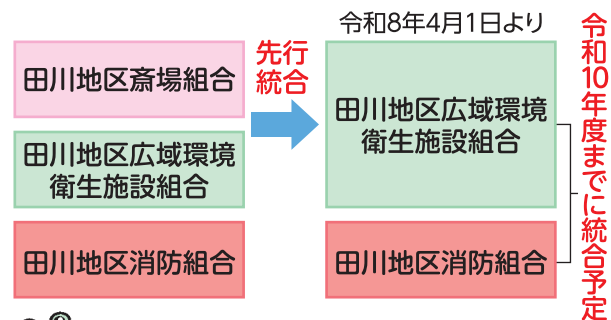
ネットワーク機器更新業務 委託料 (糸田中学校) 165万円 教務課

説明 学習用タブレット端末のネットワークセキュリティのライセンス更新に加え、設置機器を更新するための費用。

一部事務組合の統合について

税務町民課

田川8市町村で共同運営している下記3つの一部事務組合について、住民サービスの向上と業務の効率化を図るため、組合を統合する案が出された。
今定例会では、田川地区斎場組合と田川地区広域環境衛生施設組合が先行して統合する議案が上程され、付託委員会で審査。
統合のためには、田川8市町村議会で関係議案すべてが可決されなければならない。



令和10年度までに統合予定



先行して統合する理由は？

斎場組合の人手不足によって福智町の職員を2名派遣しているが、どの自治体も人手不足により、派遣が困難な状態となっている。
火葬業務等の安定した運営のために先行統合することが判断された。

今定例会で上程された議案

○田川地区斎場組合

- ・規約の変更について
田川地区広域環境衛生施設組合に事務を引き継ぐための条文を追加する議案
- ・解散について
令和8年3月31日で斎場組合を解散する議案
- ・解散に伴う財産処分について
斎場組合が所有する土地・建物や物品等を広域組合に帰属させる議案

委員会では全会一致で承認となった。

○田川地区広域環境衛生施設組合

- ・共同処理する事務の変更及び規約の変更について
規約に火葬に関する条文の追加や、運営経費について負担金を定めるための条文追加等の議案

委員より、「スポーツ施設に関する『設置』の文言について、不慮の事態を想定し、削除を求めたい」と反対意見があり、委員会内で採決。

委員会では賛成多数で承認となった。

委員会で審査された議案は本会議最終日に委員長報告の後に議員全員で採決するよ。議場での採決の結果と討論は16ページへ。



令和7年12月8日に建設厚生常任委員会、12月9日に総務文教振興常任委員会を開催し、一般会計補正予算含む17議案の審査をおこない、定例会最終日に各委員長から報告。
一般会計については、補正予算案として、既定の予算から歳入歳出それぞれ1億2,187万2千円増額となり、総額が歳入歳出それぞれ70億1,614万円となった。

令和8年第1回臨時会

令和8年1月14日の臨時会において一般会計補正予算案が上程され、上記予算から歳入歳出それぞれ1億5,508万6千円を増額し、総額は歳入歳出それぞれ71億7,122万6千円となった。本補正予算で決定した内容は、下記のとおりとなる。

- ・0～18歳の児童一人あたり2万円の支給（基準日：令和7年9月30日、支給時期：2月以降）※専決処分
- ・全町民一人あたり1万5千円の支給（基準日：令和8年1月1日、支給時期：今年度中予定）

建設厚生常任委員会

審査・調査対象の課：健康福祉課・子育て支援課・土木課・建築課・町立病院
委員長：竹田 副委員長：松瀬
委員：谷口・白銀・仲島・森下

自立支援給付費 約2,008万円 健康福祉課

説明 障がい者の方がヘルパーサービスや施設入所等のサービスを利用するための費用を一部町が負担しているが、当初の予算より見込みを超えたため、補正をするもの。



更生医療給付費 700万円 健康福祉課

説明 障がい者の方が医療やリハビリテーションを必要とする場合に、費用を一部町が負担しているが、当初の予算より見込みを超えたため、補正をするもの。



医療費扶助 (ひとり親家庭) 約300万円 健康福祉課

説明 離婚などにより配偶者のいない人で18歳年度末までの子どもを養育している人、および養育している小学校就学後から18歳年度末までの子どもの医療費の自己負担分を助成する制度で、今回は医療費の不足により補正するもの。



施設型給付費委託料 約1,789万円 子育て支援課

説明 子ども・子育て支援法に基づき、町立以外の保育所等に対して支給する給付費。公定価格の上昇が見込まれ、当初の予算では不足することから、補正をするもの。



放課後児童クラブ修繕料 33万円 子育て支援課

説明 小学校のグラウンドから多量の雨水が流入し、空調室外機等が浸水被害を受ける可能性があるため、未然に防止するための修繕費用。



保育所等給食支援費補助金 約62万円 子育て支援課

説明 町内の私立保育所に給食材料費高騰に伴う費用を一部補助するもの。



賛成討論（白銀）

この議案は、斎場組合と広域組合の統合に関する議案で、今回提案された統合の方法により、人員の問題等が解消されて安定的な運営が可能となり、経営の合理化につながるとの説明があった。また、田川地区8市町村が共同で運営している一部事務組合の問題でもあり、もし、今回の議案に賛成しなければ、斎場組合の運営に関わることとなり、糸田町の負担が増加しないとは言えない。それによって、町民への負担が増えることはあってはならない。8市町村が足並みを揃えて運営にあたっていくことが重要であり、今後の住民サービスの低下とならないためにも必要なものと考え、賛成をする。

採決の結果、**可決**となった

発議第2号 糸田町立緑ヶ丘病院院長交際費の使途等に関する調査特別委員会の設置(案)について

提案議員：山田 賛成議員：木下

提案理由：糸田町立緑ヶ丘病院院長交際費の使途等に関する事案に対し、地方自治法第100条に基づき、当該事務の調査をおこなう必要があることから、調査特別委員会の設置(案)を提出するもの。

提案議員による説明（山田）※一部要約・抜粋

令和元年度から令和6年度までの糸田町立緑ヶ丘病院長交際費の情報開示請求をおこない、その使途として、経営安定化対策費として商品券を、令和元年度54万円、令和2年度27万円、令和3年度26万円、令和4年度24万円、令和5年度24万円、令和6年度28万円分を購入し、大学病院の各診療科医局に渡したとの報告だった。町長の答弁で、九州大学第三内科、外科、医局に持って行ったと主張されていたが、九州大学側は、全38医局の医局長と代表教授を対象に過去5年ほど遡って調査した結果、糸田町立病院以外からも含め、商品券を受け取っていないと主張されている。また、寸志についても、町の文書に記録された全部ではなく、一部しか受け取りを認めていない。このことから、病院長交際費の支出が不明確であり、適切とするには十分な確証がない。町の税金が使われていることから、町民の知る権利が当然あると思う。経営安定化費は、今後の糸田町立緑ヶ丘病院事業を進めていく上で重要な検討課題として取り扱っていかねばならないと思う。また、情報を公開しないことにより、不正確な臆測が流布され、九大病院や関係のない大学病院等にも迷惑がかかる恐れがあることから、この調査特別委員会を設置し、事実関係を明らかにする必要がある。

討論一覧および採決結果(一部要約・抜粋)

反対討論（谷口）

渡していないのではないかという指摘に関しては、受領書等をもらえないものであり、それが交際費というものであると考える。町側は2人以上で訪問を行っており、相手方は受け取っていないと言っているそうだが、職員を信用すれば疑う必要はないものとする。立場を守ろうと考え、渡した証拠がない中、もらっていないという相手方と、今まで真摯に議会運営に協力してきた職員と、どちらを信用するかは明らかではないか。これ以上追及したとしても明確な答えが出るとは思えないし、新聞報道等に踊らされて違法性もない中で、それでもなお調査をおこなうのは、何を旨として委員会を立ち上げるのか理解出来ない。これ以上続けることは、町立病院と相手方との関係性を悪化させ、更なる経営圧迫を引き起こし、最終的には町民の福祉増進を妨げるものになる。実際に、大学医局からは、来年度の医師派遣を見直すとの通知があったと聞いている。数ある派遣先でこのような混乱があるとうなる。町への損失は、正直計り知れない。それが分からないまま続けるのであれば、すぐにやめるべきであるし、分かっているのであれば、いかなものかと考える。指摘により、町立病院側も今後は交際費支出に関して見直すと言っているし、これ以上の調査、追及の必要がないと考える。

賛成討論（木下）

院長交際費を使用し、経営安定化対策費として大学病院、各診療科医局に商品券を渡したとされているが、九州大学病院では糸田町立病院も含め、それ以外からも商品券を受け取っていないと主張されている。また、寸志についても、一部しか受け取りを認めておらず、町の主張とは異なっている。町立病院院長は、「町が勝手にやっていることだから、私は一切知らない」と言われている。また、渡せずに持ち帰ったこともあり、その後は分からないと言われている。このことから、町は説明責任が求められる。また、このことをきちんと調査する義務が議会にもある。町は説明するどころか、前回の指摘を受けて以降、情報公開を黒塗りで出すなど、全く誠意が見られない。情報を公開されないことにより、また、報道などにより、様々な不正確なうわさが広まっている。九州大学が受け取っていないと言うのなら、誰かがまだ未だに持っているのではないかと考えられる。事実を明らかにすることが必要と考えられるので、私は賛成をする。

反対討論（森下）

まず、私は前回なぜ賛成したのか。当時、商品券購入と医療関係者への配付という支出について、それが不正であったのか、あるいは業務上の善意の配慮だったのか、判断を下すに情報が不足していた。このような状況のもとで、説明が不十分なままでは、行政への不信は増し、医療従事者を含めた関係者の名誉が傷つく恐れもあった。だからこそ私は疑惑を深めるためではなく、疑念を晴らし、適正な支出であれば、名誉を守るために透明性を確保するべきであると考えた。調査特別委員会は、断罪の装置ではなく、透明性を担保し、信頼を回復する手段にもなり得る。行政を不当に守るのではなく、根拠なく責め立てるのでもなく、町民への説明責任を果たすための最も誠実な判断として、前回私は賛成をした。

しかし今回、状況は根本から変わった。町長は過去の運用を断ち切り、今後は交際費から商品券による支出を停止する方針を明言した。疑念ある支出が継続している状況と、問題視された支出方法を廃止する決断をなされた状況とでは、議会がとるべき手段は当然異なってくる。変化を無視し、前回と同じ強制手段を繰り返すことは、議会の判断を硬直化させることになる。そして、商品券による支出を止める以上、今後必要なのは、証拠を残す制度ではない。証拠を残す制度とは、あくまで交際費を使うことを前提とした仕組みである。しかし、町長が商品券を送らないと明言している以上、必要なのは、商品券を送らないという方針を制度として位置づけることではないか。更に、やむを得ず交際費支出が必要となる例外が仮にあるとすれば、その範囲を明確にする。これにより、将来の町長が恣意的に商品券の配付を復活させることを防ぎ、透明性を担保できる。つまり、今議会が果たすべき責任は、強制調査ではなく、商品券を贈らない方針を明文化し、未来の行政運営を守ることであると考える。加えて、調査特別委員会の設置は、病院建替事業と重なり、膨大な資料作成や証言準備を伴い、裁裁権限を持たない弱い立場の職員に過度な負担を強いることになる。私は建て替えについて慎重な立場だが、議論によって事業を立ち止ませたいのであり、職員に負担を強いることで間接的に遅らせたいのではない。強制調査の内容は、行政監視ではなく、職員追及に姿を変える危険性がある。これは議会本来の姿ではないと考える。議会の使命は、過去の不備を糾弾することではなく、住民の未来に責任を持つこと。町長が商品券配付の停止を提言した以上、私たちはその決断を制度として定着させるべきであり、強制調査に依存し続けるべきではない。以上のことから、設置には反対をする。

採決の結果、**否決**となった

令和7年第4回糸田町議会定例会（12月3日～12月12日）

議案

件名

結果

詳細

全

会

一

致

果

否

決

賛成

反対

※議長に表決権はないため「一」としています。可否同数の場合のみ裁決権を行使します。

谷口

白銀

松瀬

早麻

仲島

竹田

山田

小嶋

森下

木下

中原

井手元

一

否

決

賛成

反対

※議長に表決権はないため「一」としています。可否同数の場合のみ裁決権を行使します。

谷口

白銀

松瀬

早麻

仲島

竹田

山田

小嶋

森下

木下

中原

井手元

一

議案第2号 糸田町立緑ヶ丘病院院長交際費の使途等に関する調査特別委員会の設置(案)について

入札結果						議長交際費 執行状況(令和7年10月～12月)		
工 事 名	業者名	予定額(円)	最低制限価格(円) ※事前公表	金 額 (円)	落札率(%)		摘 要	金 額
令和7年度福岡県農村整備総合事業 真岡地区水門更新工事(土工)	令和工業	5,190,000	4,619,000	5,190,000	100	10月23日	全日本同和会田川地区協議会 人権・同和問題研修会 祝儀	10,000円
						10月29日	視察研修手土産代	10,074円
						11月19日	香典代および生花代1件	30,000円
						12月19日	香典代および生花代1件	30,000円
							合 計	80,074円

※1回目の入札は一社のみで不調、再度の入札でも一社のみで落札となった

議案第67号 田川地区広域環境衛生施設組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について

○議案の提案理由

令和8年4月1日から田川地区広域環境衛生施設組合の共同処理する事務を変更するにあたり、関係市町村と規約変更の協議が必要なため、議会の議決を求めるもの。

討論一覧(一部要約・抜粋)

反対討論（木下）

統合については賛成をするが、規約改正の「ごみ処理施設に附帯して整備するスポーツ施設等の設置、管理及び運営（※下線部が改正内容）に関すること」の『設置』の部分については、斎場組合の規約の改正なのに、スポーツ施設等の設置を改正する必要はないと思う。全員協議会で指摘箇所を説明せず、様々な意見が出た。今までし尿処理会社の平準化や根拠のない区割り等があり、組合長にノーを言えない状態になっているのも事実。全員協議会で同僚議員から「『設置』を入れていると、また勝手に建造物をつくれる可能性がある」、「規約に入っているから負担金を出すように言われても仕方なくなるので、がんじがらめにしてそう言われないようにするべきだ」や「糸田町議会が提案した案が未だに広域組合の条例や規約に入っていない。絶対に反対すべきだ」等の意見が出たので、声をあげた先輩議員が反対してくれると思っている。町長は「組合議会で判断し、間違ったことがあればもちろん反対する」と言われていたが、信じることができない。よって反対をする。

賛成討論（森下）

まず、本議案の目的は、一部事務組合の統合を通じて経営の合理化を図り、共通する事務や業務の効率化を推進することで、住民サービスの向上を実現し、将来にわたり、継続的にサービスを提供することにある。これは、住民の安心を守るために不可欠な取り組みであると考えられる。特に斎場組合については職員不足で、常に持続的な執行体制の確保が困難な状況にある。各自治体とも人手不足であり、今後の職員派遣も難しいことから、このままでは、火葬業務そのものの継続性が危ぶまれる事態となりかねない。こうした現状を踏まえ、斎場組合を先行して統合することは、住民サービスの低下をせずに、極めて合理的かつ必要な判断であると考ええる。令和7年5月には、田川地区8市町村長による基本合意書が締結され、市町村長会議や統合準備委員会等で慎重な協議が重ねられてきた。その結果として、令和8年4月1日から、広域組合に火葬業務を共同事業として加え、分賦金の取扱いを定める規約改正をおこなうことが決定された。この規約改正により、火葬業務は広域組合の枠組みの中で安定的に運営され、住民に対して途切れることなくサービスを提供することが可能となる。まさに、住民の安心を守るための制度的基盤を整えるものであり、将来にわたり持続可能な体制を確立するための重要な一歩であると考ええる。よって、賛成をする。

まちは どうなっちゃうと



町内の現在の姿をお届けするコーナー。今回は今定例会内の全員協議会で説明された今後の平成筑豊鉄道と真岡団地建替関係や委員会での活動を報告。

平成筑豊鉄道関連



資金不足により、今定例会でも各沿線自治体からの追加支援が決定した平成筑豊鉄道。

今日までに法定協議会で協議を重ね、また、アンケート等利用実態調査を実施。

今後の運行については、今年度中に大きな方向性の結論を出す予定となっている。

以下の3案が候補となっている

①鉄道上下分離案

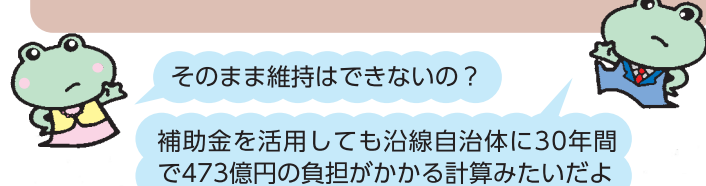
運行・運営を平成筑豊鉄道のままで、沿線自治体が線路等のインフラ面の所有・管理をする。

②BRT (バス高速輸送システム) 案

線路敷をバス専用道路として整備して運行。一部区間のみは一般道を走行する。

③路線バス案

②のBRT案とは反対に一般道をメインで走行、一部区間のみ線路敷を走行する。



真岡団地建替関連

真岡団地建替基本計画の概要と今後の流れについての説明があった。

6階建ての西棟・東棟の2棟を建設予定とし、来年度から工事の着手が始まる。解体を含めた工事の完了は、令和16年度を予定としている。

議員定数等調査特別委員会

- 委員長：白銀 副委員長：木下
- 委員：議員全員

議員定数等について調査・研究をおこなうために設置された特別委員会。他町議会に研修も実施し、今日までに委員間で議論を重ねた。

今定例会では区長会から議員定数についての要望書が提出され、各委員で検討・協議。委員からは「議員定数を削減すると、独裁的な政治を招く懸念がある」、「民意をより反映させるため、議員報酬を削減し、その分議員定数を増加させることも一つの選択肢ではないか」等の意見があり、委員会としては検討を引き続きおこない、次回以降に結論を出す方向で進めていくこととなった。

結論が出たらまた報告があるよ



糸田アリーナに無線LAN設置を要望

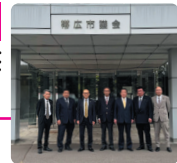
議会だより第47号の取材中に「糸田アリーナに無線LANの設置をお願いしたい」との要望があった。他の町民からも要望があったことを踏まえ、今定例会中に広報委員会として町長に無線LAN設置の要望書を提出した。



研修等報告

不登校対策の理解を深めるために 田川郡町村議会議長会県外視察研修 —令和7年9月30日～10月2日—

- ★場 所 北海道帯広市
- ★参加議員 井手元(田川郡町村議会議長のみ)
- ★研修内容 不登校児童生徒への支援について
インターネットの仮想空間を活用した不登校対策「ひろびろチョイス」を視察。受け皿としての入口が広がったことは成功事例として参考になるものだった。



信頼関係を築く広報誌の作成づくりを目指す 福岡県町村議会広報研修会 —令和7年11月6日—

- ★場 所 博多サンヒルズホテル
- ★参加議員 小嶋・森下・白銀・仲島・中原
- ★研修内容 戦略的広報と議会報づくりの型
SNS等の広報媒体を活用した伝達方法や表現方法等について理解を深めることができた。



伝える力の大切さを改めて認識 田川郡町村議員研修会 —令和7年11月21日—

- ★場 所 川崎町勤労青少年ホーム
- ★参加議員 井手元・小嶋・白銀・仲島・森下・中原
- ★研修内容 コミュニケーション研修／対話と発信力の向上
「相手にどう届くか」を基準にした言葉選びが重要であり、誠実さを失わず、視野を広く持ち、行動で語る議員こそが町民に選ばれ続ける存在であることを胸に議会活動に生かしていきたい。



視察受け入れ

鳥取県岩美町議会 —令和7年10月22日—

- ◆視察内容 糸田町立緑ヶ丘病院
 - ◆参加議員 井手元・小嶋・松瀬・仲島・森下・木下・中原
- 岩美町議会産業福祉常任委員会委員6名を含めた計9名が緑ヶ丘病院の視察研修のために来町。小原病院事務長から経営状態や建替事業について説明をおこない、双方にとって実りのある機会となった。



添田町 住民と議会のカタリ場 ～未来会議～ —令和7年11月15日—

- 場 所 添田町オークホール
 - 参加議員 井手元・小嶋・森下
- 添田町議会が主催の広聴会に井手元議長、広報委員会委員長・副委員長が参加。各常任委員会の委員長が議会報告をした後、ワークショップ形式で班ごとに分かれて決められたテーマで意見交換を実施。各テーブルに議員が入って中心になることで、誰もが気軽に意見を述べやすい雰囲気をつくっていた。



添田町の皆さんありがとうございました

トークルール

- ◆相手の話を聴きましょう
- ◆ほかの人の意見を否定しないで
- ◆多くの人が発言できるようにしましょう



皆さん積極的に意見を出していたよ

▲糸田町議員もテーブルに参加

各委員長から議会報告



出された意見は町に提出するんだって

添田町の広聴会を体験して…
来年度に議会広報常任委員会主催で
広聴会の実施を計画

日時が決定したらお知らせします！



県外視察研修報告(兵庫県)

令和7年10月29日に兵庫県太子町、10月30日に兵庫県播磨町で視察研修を実施。

◆参加議員 … 井手元・小嶋・谷口・白銀・早麻・仲島・竹田・森下・木下・中原

兵庫県太子町 令和7年10月29日

聖徳太子ゆかりの町。
開かれた議会として様々な工夫・有効活用がされている議会棟の視察研修を実施。



庁舎から独立した議会棟

「環」をモチーフとした議場は、人との交流を図りやすい形となっている。また、議場でコンサートや結婚式、夏季休暇中には自習室としての開放や災害時の資材置き場等、幅広い利用がされている。

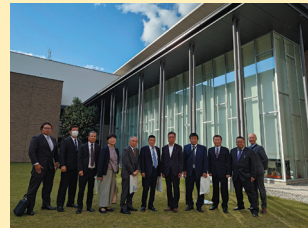


▲特別に議場での研修



いかるが
▲斑鳩寺

研修後の立ち寄り視察として、聖徳太子の立像があり、1400年の歴史の重みを感じる斑鳩寺を訪問して見識を深めた。



▲議場が見られる中庭で撮影

播磨町『孤独・孤立対策の取り組み』

「誰ひとり取り残されないまち」として孤独・孤立対策に力を入れ、様々な団体や民間（兵庫ヤクルト販売株式会社等）と連携することで行政の手が届かないところの支援が可能となっている。
ひとりでいることが決して悪いことではなく、必要な時につながれる地域づくりを目指している。
また、国が展開する「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」において、町村では全国初の指定となった。

兵庫県播磨町 令和7年10月30日

兵庫県で一番小さい町でありながら、人口が約3万5千人と活気溢れる町。



令和6年にいっとこカーの視察で播磨町議会の皆さんが来町され、糸田町議会と交流！

研修をした感想は？



官民連携プラットフォームの構築は、地域課題への包括的対応を可能にする体制整備として重要な位置づけであると感じました。



▲居場所マップ



ここも視察 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター(神戸市)

阪神・淡路大震災の経験を生かし、防災・減災に関する啓発活動や情報発信をおこなっている施設。震災の追体験や、語り部から自らの体験を聞くことができる。



快く視察を受け入れていただきありがとうございました



アンケートでいただいた声だよ

非常に読みやすいです。
全国コンクールに入賞すべく尽力してください！